

あけまして おめでとうございます



活力ある市民生活の実現に向けて

朝来市議会議長

能見勇八郎

新年明けましておめでとうございます。

輝かしい初春をご家族お揃いでお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は本市においては大きな災害もなく、平穏に推移しましたが、日本各地では梅雨や台風に伴う局地的な集中豪雨で多くの被害が発生しています。また、夏には酷暑による熱中症なども報道されました。

このような中で、本市においては皆様とともに市制50周年の式典を挙行することができ誠に喜ばしいことでした。しかし、社会、経済の面では長引く不況が我々の生活に暗い影を落としています。昨年の前半は経済もやや上を向き、明るさを取り戻すかに見えましたが、その後、世界的な通貨安の中、日本の対策は立ち遅れ、円高が進行し、輸出企業を中心に再び経済は停滞し、企業の海外移転に伴う産業の空洞化がさ

らに進もうとしています。今後企業の国内投資の減少が見込まれ、政府は抜本的な景気対策を打つべきですが、財政難の折、かなり困難が伴うのではないかと危惧されます。

朝来市としての対応はどうか、当面は既存の製造業の動向を注視し、必要な対策を取ること、新規企業の誘致に全力で取り組むことが必要であり、長期的には地場産業を育成すること、環境問題との関連で農業、林業を育成すること、観光産業を育成することなどに取り組み、不況を乗り切り、経済の発展、活性化を目指すべきと考えます。

ところで朝来市の行政が取りくまなければならぬ喫緊の課題は庁舎問題、基金問題であり、さらに病院問題です。今年、これらの問題に一定の方向性を見出し、将来の安定した市政運営、安心安全の市民生活を目指し決断すべき年となるでしょう。

議会としては地方分権が進展していく中、二元代表制の一翼を担うものとして、議会改革をさらに進めなければなりません。昨年に続き議会報告会を開催するとともに、一般会議を始め様々の会議を市民の皆様のご協力を得て実現し、議員共々活力ある議会を目指し尽力致します。

昨年はとにかく平穏に経過しながらも、何か停滞感が漂い、明るさ、活力が感じれない年でした。しかし、朝来市には自然、文化、産業、遺跡など多くの全国に誇るべき優れたものがあります。今年はその優れたものに目を向け、その活用を図り、皆様とともに着実な一歩を踏み出す年にしたいと思っております。

皆様にとりまして、今年が幸多き年となりますよう心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。